

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>  
神奈川県衛生研究所

第 178 号

平成 19 年 12 月 11 日発行  
病原体検出は平成 19 年 8 月分

## 特集

### 2007/2008 シーズンの インフルエンザウイルス検出情報

県域（横浜市、川崎市を除く）では、2007 年 38 週（9/17～23）からインフルエンザ患者報告があるようになり、46 週（11/12～18）の定点あたり報告数は 1.50 と過去 5 年間で最も早い立ち上がりとなっています。

#### 1. 感染症発生動向調査

病原体定点（横須賀市と相模原市を除く県域）からは、39 週（9/24～30）～48 週（11/26～12/1）の間に 14 検体が搬入され、MDCK 細胞および Caco-2 細胞を用いてウイルス分離とインフルエンザウイルス遺伝子検出を実施しました。そのうち 2 検体からインフルエンザウイルス **A ソ連型(H1)** が分離されました。

初発患者は 39 週に、2 例目は 41 週（10/8～14）に、同じ医療機関を受診していました。

分離ウイルスは、国立感染症研究所から配布された 2007/2008 シーズンインフルエンザウイルス同定用キットおよび 0.75%モルモット赤血球を用いて同定しました。その結果、2 株ともに抗 A/Solomon Islands/3/2006（ホモ価 320）に対して HI 価 80、抗 A/Hiroshima/52/2005（同 640）、抗 B/Malaysia/2506/2004（同 640）、抗 B/Shanghai/361/2002（同 640）に対しては < 10 を示し、**A ソ連型(H1)** と同定されました。病原体定点からのインフルエンザウイルスの検出は、11 月末現在、この 2 例のみでした。

#### 2 集団かぜ

集団かぜは、42 週（10/15～21）に相模原市で発生したのが県域初発でした。以後、43 週（10/22～28）に厚木地域、44 週（10/29～11/4）に藤沢市と鎌倉地域、45 週（11/5～11）に秦野地域、46 週に茅ヶ崎地域と足柄上地域、48 週に大和地域でそれぞれ発生報告があり、ほとんどが小学校低学年における発生でした。これら 8 集団 37 名のうがい液について MDCK 細胞および Caco-2 細胞を用いたウイルス分離とインフルエンザウイルス遺伝子検出を実施しました。その結果、全 8 集団の 29 名からインフルエンザウイルス **A ソ連型(H1)** の遺伝子が検出されました。また、遺伝子が検出された 29 名中 10 名から同型のウイルスが分離されています。分離ウイルスは、抗 A/Solomon Islands/3/2006（ホモ価 320）に対して HI 価 80～160、抗 A/Hiroshima/52/2005（同 640）、抗 B/Malaysia/2506/2004

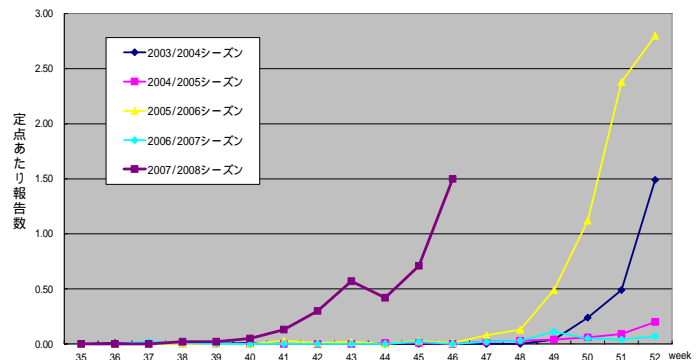


図1 インフルエンザ患者報告数(県域)

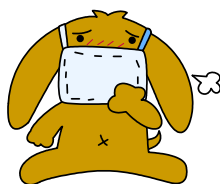
(同 640) 抗 B/Shanghai/361/2002 (同 640) に対しては < 10 を示しました。

11 月末現在、県域では A ソ連型(H1)のみが検出されていますが、近県(埼玉県および千葉県)では A 香港型(H3)が検出されたとの情報もあり、今後もインフルエンザの動向に注目する必要があります。

(エイズ・インフルエンザウイルスグループ 渡邊 寿美)

インフルエンザ情報を毎週、神奈川県衛生研究所ホームページに掲載しています。

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>



# 病原体検出

表 1 病原体検出状況(保健所等別) 平成 19 年 8 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査													病原体定点 1			合計			
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	県域外発生関連調査	横須賀市保健所	相模原市保健所	藤沢市保健所	計	小児科		インフルエンザ	眼科	基幹
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)				1							1		2						2
	その他の大腸菌 2			3								2		5						5
	サルモネラ 04群			3										3						3
	サルモネラ 09群											2		2						2
	サルモネラ 013群													1						1
	腸炎ビブリオ			1							1			2						2
	カンピロバクター・ジェジュニ	1			1			1						3	3					6
	赤痢菌 (S. sonnei)												1(1)		1(1)					1(1)
計	1		7	1	1		1			1	6(1)		18(1)	4					22(1)	
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH3						1							1						1
	コクサッキー A5													2						2
	コクサッキー A6													1						1
	コクサッキー A10													7						7
	コクサッキー B5													1						1
	エコー 6													1						1
計							1						1	12					13	
合計	1		7	1	1		2			1	6(1)		19(1)	16					35(1)	

1: 病原体定点の検出数は横須賀市、相模原市、藤沢市も含めた定点の合計を計上した。( )は海外渡航者数。

2: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

## <検出状況>

- ・ 8 月の病原体検出数は合計 35 件、細菌 22 件、ウイルス 13 件であった。
- ・ 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では細菌が 18 件、ウイルスが 1 件検出された。
- ・ 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が 4 件、ウイルスが 12 件検出された。
- ・ 保健所管内別の病原体検出状況は表 1 のとおりである。

表 2 病原細菌検出状況(臨床診断別) 平成 19 年 8 月

	感 染 症										食 中 毒	有 症 苦 情	( 依 頼 者 保 菌 者 検 査 検 査 ) 1 査	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	淋 菌 感 染 症	マ イ コ ブ ラ ズ マ 肺 炎				
検 査 検 体 数		9			6		13	15			37	12	1,961	2,053
腸管出血性大腸菌(EHEC)					2									2
その他の大腸菌 2							2				3			5
サルモネラ 04群													3	3
サルモネラ 09群												2		2
サルモネラ 013群							1							1
腸炎ピブリオ											2			2
カンピロバクター・ジェジュニ							3				1	2		6
赤痢菌 ( <i>Shigella sonnei</i> )		1(1)												
計		1(1)			2		6				6	4	3	22(1)

1：依頼検査(保菌者検査)は、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く。  
 海外渡航者数は(内数)として記載  
 2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

<検出状況>

- ・ 腸管出血性大腸菌 0157(VT1&2 保有)が届出患者の家族より 1 件、散発事例から 1 件、検出された。
- ・ サルモネラ 04 群が健常者より 3 件、検出された。
- ・ 腸炎ピブリオが集団食中毒事例より 2 件、検出された。
- ・ カンピロバクター・ジェジュニが食中毒等事例から 3 件、感染性胃腸炎患者から 3 件検出された。
- ・ 赤痢菌が、海外渡航者(タイ)より 1 件検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別) 平成19年8月

	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平成19年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	6	7	1	16	1	49						1	5	2	8
毒素原性大腸菌(ETEC)	5	2	2			9				1		7			8
その他の大腸菌	1	1	1	1	11	28	1	4	1	2	1		3	5	17
サルモネラ O4群				1		2		1						3	4
サルモネラ O7群						6					2				2
サルモネラ O8群						2						1			1
サルモネラ O9群			4			5	1							2	3
サルモネラ O13群												1		1	2
腸炎ビブリオ	3					3								2	2
ブレジオモナス・シゲロイデス							1								1
カンピロバクター・ジェジュニ	8	1	6	2		38	1	4	1	15	9	12	9	6	57
カンピロバクター・コリ						1				1					1
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ										1	1				2
黄色ブドウ球菌	4				7	12	4			13	2		2		21
ウエルシュ菌				2	11	93	1	7			16	1			25
セレウス菌					1	1									
赤痢菌 ( <i>S. flexneri</i> )								1							1
赤痢菌 ( <i>S. sonnei</i> )	1	1	1		2	5								1	1
A群溶血レンサ球菌					1	39		1	4		3				8
コリネバクテリウム・ウルセランス						1									
淋菌	2	1				6									
マイコプラズマ・ニューモニエ	9	7	3	2	1	27	1								1
レジオネラ・ニューモフィラ			1			1									
合計	39	20	19	24	35	328	10	18	6	33	34	23	19	22	165

: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

< 検出状況 >

- ・ 腸管出血性大腸菌が7月に引き続き2件検出された。
- ・ カンピロバクター・ジェジュニが、7月に引き続き6件検出された。食中毒事例および病原体定点からの検出が、前年3月(12月を除く)から続いている。

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断名別) 平成19年8月

	ウエストナイル熱	ツツガム病	デング熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹除(成人麻疹)	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	成人麻疹	その他	食中毒様	合計
取り扱い検査件数		1	3				7	2		20			1		2			7	43
インフルエンザ AH3													1						1
コクサッキー A5										2									2
コクサッキー A6										1									1
コクサッキー A10								2		5									7
コクサッキー B5										1									1
エコー 6										1									1
計							2		10				1						13

< 検出状況 >

- ・ 手足口病患者 2 検体から、コクサッキーウイルス A10 型が 2 件検出された。感染症発生動向調査の 8 月の患者報告数はピークをすぎ、減少傾向を示した。
- ・ ヘルパンギーナ患者 20 検体から、コクサッキーウイルス A5 型が 2 件、同 A6 型が 1 件、同 A10 型 5 件、同 B5 型 1 件、エコーウイルス 6 型が 1 件検出された。感染症発生動向調査では 8 月の患者報告数は減少傾向を示したが、取り扱い検査件数は 7 月とほぼ同数であった。
- ・ インフルエンザウイルス AH3 型が、1 件検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別) 平成19年8月

	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平成19年累計
インフルエンザ AH1						45				1					1
インフルエンザ AH3						173	10	44	25	1				1	81
インフルエンザ B						3	25	11	18	2					56
パラインフルエンザ 1						2									
パラインフルエンザ 2				1		1									
R S					1	2									
ポリオ 3												1			1
コクサッキー A4	1					25									
コクサッキー A5			2	1		4							2	2	4
コクサッキー A6														1	1
コクサッキー A10	1					2						2	14	7	23
コクサッキー A16	8	6	5	2	1	33			1	1	1		8		11
コクサッキー B2													1		1
コクサッキー B3		1				1									
コクサッキー B4													1		1
コクサッキー B5	1		2	1		5							2	1	3
エコー 6														1	1
エコー 18	3	4				8									
エコー 30						1									
エンテロ 71		1		1	1	4	1				5	4	9		19
ムンプス		3				7									
麻しん											1	2			3
アデノ 1						1									
アデノ 2						1		1		1					2
アデノ 3		1				18	1								1
アデノ 4						2		1					1		2
アデノ 5											1				1
アデノ 37						1			1			1	1		3
アデノ 40/41						2							2		2
アデノ(型未決定)				1		2	1								1
単純ヘルペス 1	1		1	2	1	8	3	1				1			5
ロ タ					1	33	1	2	7	4	5	1			20
小型球形						1									
ノロ			10	248	333	737	86	60	37	35	6	18	18		260
サボ					4	5	2	4	1		4	3	5		19
アストロ											1	1			2
デング		1				1									
未同定	1	1				3							1		1
リエンチア ツガムシ			1	2	1	4									
合計	16	18	21	259	343	1135	130	124	90	45	24	34	65	13	525

< 検出状況 >

- ・ 7月に引き続き、コクサッキーウイルス A10型が7件、A5型が2件、B5型が1件検出された。
- ・ ノロウイルスは11か月振りに検出がなかった。

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況 平成 19 年 8 月

(神奈川県衛生研究所検出)

検査検体数	病原細菌検出数及び検査検体数													
	食 品						環 境							
	8月			1-8月累計			8月				1-8月累計			
	食中毒等	除去検査	その他	食中毒等	除去検査	その他	海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他	海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	54	72	1	376	389	44		3	39	1	54	29	353	24
サルモネラ 04群					2	3								
サルモネラ 07群					4	7								
カンピロバクター・ジェジュニ	1					9								
カンピロバクター・コリ						3								
レジオネラ・ニューモフィラ 6群												1		
レジオネラ・ニューモフィラ 14群								1				1		
計	1				6	22		1				2		

1：河川水を含む。